

氏名： 山本 秀行 (YAMAMOTO Hideyuki)  
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系  
学位： 文学修士 (1972 東京大学)  
職名： 教授  
専門分野： 西洋史学、ドイツ現代史、ヨーロッパ近代社会史  
E-mail： yamamoto.hideyuki@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

ナチズム／第三帝国／植民地／ナショナル・アイデンティティ／社会史

◆研究内容 / Research Pursuits

ここしばらくは、ナチズムとドイツ第三帝国の諸問題を、複数の人種プロジェクトという観点からとらえなおすことを課題としている。今年度これと関連して、ドイツ史やヨーロッパの歴史を 16、18 世紀まで遡って、再検討する作業もすすめた。

1. 自発的アソシエーションに注目して、18 世紀から 20 世紀はじめまでの西洋史をとらえなおす作業の一環として、今年度は Stefan-Ludwig Hoffmann の『Civil Society』の翻訳をおこなった。
2. ナチス・ドイツによる東欧占領政策研究については、「クルコフスキの『占領時代の日記』を読む」（お茶の水女子大学『人文科学研究』第 3 巻 2007 年 3 月 pp.41-54）の続きを準備していたが、今年度は論文にまとめる時間がとれなかった。
3. ナチズム研究との関連で、「植民地なき国の植民地主義」というテーマのもとに、東京大学で講義をおこなった。いずれ、論文などの形で研究成果として公表したい。

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

学部教育では、学生の文献検索、プレゼンテーションおよびレポート作成の能力育成に力を入れた。外国史論文講読、西洋史研究法、西洋史講読などの授業がこれにあたる。2年生向けの授業がおおかったので、比較歴史学コースの図書室での文献調査やパソコンをもちいての文献検索などの実習を積極的に組み入れた。

西洋社会経済史演習では、自発的アソシエーションに注目して、18世紀から20世紀はじめまでの西洋史をとらえなおすことを試みた。また、旅の文化史など受講者が100人前後の授業においては、図像資料を積極的に活用した授業をおこなった。

大学院ではヨーロッパ社会史研究と論文指導にあたった。また、博士学位論文の審査では、副査として2件の審査を行った。

学外では、東京大学文学部でナチズムと植民地主義との関係を、ナショナル・アイデンティティという面から整理する授業をおこなった。

## ◆研究計画

ナチス・ドイツの人種プロジェクトについては多岐にわたり、現在は複数の系列について、それぞれ史料と文献を収集し、調査している。今後はポーランドなどの文書館に収蔵されている史料などの調査も視野にいれたい。またナチズム研究と東欧占領政策、植民地研究を統合した研究テーマを発展させることも大きな課題である。

## ◆メッセージ

お茶大で学ぶ歴史学のいいところは、暗記物ではないことです。

見えないものを見えるようにすること、そのために、いろいろ工夫することが、歴史学の醍醐味のひとつです。

また、西洋史のスタッフには、ドイツ近現代史の僕のほかに、イギリス中世史の新井先生と、フランス近世史の安成先生がおります。お二人とも、いやといえない性格で、面倒見のよさには定評があります。3人のスタッフと3、4年生全員が参加する卒論指導のゼミは、毎回議論に花が咲き、時間を忘れる楽しいものです。4年生にとってはどうだかわかりませんが、ゼミのあと、近くのレストランで、ワインやビールかこんで、ひと息つくのも恒例となっています。